

きょう と し た ぶん か し さく こん わ かい 京都市多文化施策懇話会 ニュースレター No.1

へんしゅう はっこう きょう と し た ぶん か し さく こん わ かい じ む きょく きょう と し そうごう きかくきょくこくさい か すいしんしつ
編集／発行：京都市多文化施策懇話会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

あら こん わ かい だい かい かい ぎ かい さい 新たにスタートした懇話会の第1回会議を開催しました



ぜんねんど がいこくせきしんし さくこん わ かい ひ つつ がいこくせき ひと がいこく
前年度までの「外国籍市民施策懇話会」を引き継ぎ、外国籍の人だけでなく、外国にルーツを
もつ全ての人々が暮らしやすいまちづくりを目指して「多文化施策懇話会」がスタートしました。
りゅうがく しゅうろう などのために らいにち かた に ほんで う まれ ぞだ がいこくせき かた に ほんこくせき しゅとく
留学、就労などのために来日した方や、日本で生まれ育った外国籍の方、日本国籍を取得した
かた たよう ぶんか てきはいけい し じん たが ささ ちいき ぎろん
方など、多様な文化的背景をもつ市民が、互いに支えあう地域コミュニティについて、議論し
ていきます。

<日時> 2010 (平成22)年6月4日(金)午前10時から12時まで

<場所> 京都市国際交流会館

<議題> 第1期(2010 (平成22)年4月から2年間)の懇話会でのテーマについて

テーマ：多文化共生の地域づくり

コミュニケーションや、子育て、教育、福祉等の視点に加えて、多様な文化的背景をもつ
民間同士が、互いに交流し、支えあうなかで、そういった多様性をどのように地域づくりに活か
していくかをテーマに、議論を進めていくこととなりました。

京都市多文化施策懇話会とは？

Q. どのような目的で設置されたのですか？

A. 多文化共生社会の実現に向けて、外国籍や外国にルーツをもつ市民の市政への参加を促進し、本市の取組などについて意見を求めるための機関です。前身の外国籍市民施策懇話会を引き継ぎ、地域コミュニティで多様な背景をもつ住民同士が支えあうまちづくりを目指して、今年度から新たにスタートしました。

Q. 委員はどのような人たちなのですか？

A. 懇話会は、学識経験者などから市長が指名した5名の委員と、外国籍もしくは外国にルーツをもつ市民から公募した7名の委員から成っています。

Q. 議論はどのように進められ、公表されているのですか？

A. 会議ごとにテーマを設定して全委員で議論します。会議は公開で、だれでも自由に傍聴していただくことができ、傍聴者の方には会議終了後にアンケートで感想や意見をいただいています。また会議のたびにニュースレターを発行し、年度末には議論の内容を提言としてまとめ、市長に報告します。ニュースレターと提言は京都市のホームページ上に掲載しています。

京都市多文化施策懇話会第1期委員(敬称略)

	氏名	職名又は国籍・ルーツとなる国
指名委員	おがわ のぶひこ ざちよう 小川 伸彦(座長)	なら じよし だいがく ぶんがく ぶ じゆんきやう じゆ 奈良女子大学文学部准教授
	かんざき せいいち 神崎 清一	ざいだん ほうじん きやうと そうしゆ じ 財団法人 京都YMCA総主事
	しげの あぐり 重野 亜久里	とくてい ひ えい り かつどう ほうじん たぶん かきやうせい 特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと理事長
	とくら よしかず 十倉 良一	きやうと しんぶんしゃ ろんせつ いんちやう 京都新聞社論説委員長
	よしむら みわ 吉村 三和	ざいだん ほうじん きやうと うんえい いん 財団法人 京都YWCA・APT運営委員
公募委員	きむ くあんみん 金 光敏	
	きむ やんじゃ 金 洋子	かんこく ちやうせん [韓国・朝鮮]
	しらかわ きいち 白川 喜一	
	おくやま こ 奥山 イク子	ちゆうこく [中国]
	ちん まさお 陳 正雄	
	シピチコ・ウリヤナ	[ロシア]
	みずとり 水鳥 ソフィー	きやうわ こく [フランス共和国]

各委員からの意見

◎地域のなかでオールドカマーもニューカマーも、日本人と一緒に暮らしやすい多文化共生を議論していきたい。

◎日本語が話せないなどの理由で、懇話会の委員になれない外国籍の方の声も汲み上げていきたい。

◎中国帰国者は、日本人であるにも関わらず中国人として見られ、地域にとけ込むのに苦労している。地域と帰国者とが積極的に交流する試みを進めなければいけない。

◎外国籍の人にとっては言葉の壁が何より大きい。文章にルビを振る、日付の標記に年号だけでなく西暦も使用する、といった小さな取組が大事だ。

◎実際に外国籍の方を支援する現場の活動を、懇話会のなかで紹介していきたい。



◎外国人留学生は、日本人の学生から離れて留学生ばかりで固まってしまうこともあるし、ネットワークに入れなければ孤立してしまうので、そういった問題を扱いたい。

◎外国人学校の現状について議論し、外国人にとって、外国の子供たちにとって、より住みやすい京都のまちについて考えたい。

◎外国籍の方に対する、市民の側の意識を知ること大切だと思う。

◎外国籍の方が子育てをするときに、地域で孤立することのないよう、こういった取組ができるのか考えていきたい。

日本女性会議2010きょうと

10月1日（金）から3日（日）にかけて、男女共同参画について共に考える「日本女性会議2010きょうと」が開催されます。この中の第10分科会では、外国人女性を取り巻く課題について、懇話会の委員5名が発表、ディスカッションを行います。皆様、是非お越しください。

◎多文化共生分科会

日時：10月1日 14:00～16:30

場所：国立京都国際会館

出席者：小川座長、金光敏委員、十倉委員、水鳥委員、吉村委員

※有料、事前申込制

日本女性会議2010きょうとオフィシャルサイト <http://joseikaigi2010kyoto.jp>

日本女性会議2010きょうと実行委員会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市文化市民局男女共同参画推進課内

TEL:075-222-3091 FAX:075-222-3223 E-mail:danjo@city.kyoto.jp

2009 (平成21) 年度報告を提出しました。

2010 (平成22) 年4月23日 (金),
外国籍市民施策懇話会を代表して水野直樹
第6期座長が, 「2009 (平成21) 年度報
告」を門川大作京都市長に提出しました。

水野座長は, 2009 (平成21) 年度に
審議した外国籍市民の市政参加, 社会参
加, 教育についての議論を報告し, 今後の
京都市の取組について提言を行いました。

門川市長は, 「提言を重く受け止め, 市政に活かしていきます。多文化共生社会を実現するため
に課題を解決し, 外国籍の方々が培ってこられた文化を活かし, 新たな文化を創造していきたい。」
と述べました。

※報告書を御希望の方は事務局まで御連絡ください。

また, 報告の内容は京都市国際化推進室のホームページに掲載しております。



事務局からのお知らせ

本ニュースレターや懇話会に関する御意見などがございましたら, 下記までお寄せください。

(懇話会の会議はどなたでも傍聴することができます。)

また, 懇話会ニュースレターのバックナンバーを御希望の方は, 下記までお問い合わせください。

京都市多文化施策懇話会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市総合企画局国際化推進室 TEL075-222-3072 FAX075-222-3055

ホームページ: http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/soshiki/2-10-0-0-0_1.html

Eメール: kokusai@city.kyoto.jp